



国際ロータリー第2670地区

# 高松西ロータリークラブ

The Rotary Club of Takamatsu West



## Weekly Report 2014-2015

創立	1969年4月14日
承認	1969年4月23日
チャーターナイト	1969年11月9日
発行	I T・広報委員会

会長	野岸 口田 一 臣
幹事	長 古 憲 明
副幹事	野 岸 古 憲 明
S.A.A	鏡 原 陽 介



今週のプログラム	第2203回	10月17日
佐々木善教ガバナー公式訪問		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場
		JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第2202回	10月10日
「職業奉仕について」 職業奉仕委員会 磯崎委員長		
担当者	職業奉仕委員会	例会場
		JRホテルクレメント高松



野口会長挨拶



新会員:石井教広君



卓話:磯崎職業奉仕委員長



島谷SAA報告

### 会長報告

・また大型台風19号が接近中です。今年は広島府の集中豪雨、御嶽山の噴火と大災害が続き自然災害に依る被害が相次ぎました。私達は備えと云う事以外抗いようがないのが現実です。身近なところで被害が出ないようお気お付け下さい。そんな中で発光ダイオードを開発した日本の3人のノーベル物理学賞受賞という明るいニュースもありました。中村修二さんは四国出身です。大変誇りに感じずにいられません。

・本日から穴吹興産の不動産開発本部四国支店長 石井教広さんが当クラブに入会されましたので後ほどご挨拶願います。

・卓話は磯崎裕騎会員の「職業奉仕について」です。

出席報告	出席委員長:鈴木雅博		
会員数 /	48名	出席規準数 /	46名
出席者数 /	25名	欠席者数 /	21名
出席率 /	54.35%	ビジター /	1名
最終出席率 /	9月28日 25.00%	→	72.73%

### ビジター

高松RC 平峯 千春 様

### メイクアップ

10月8日 高松南RC 多田  
 10月9日 高松グリーンRC 伊藤 鏡原 浅原  
 10月9日 東京南RC 池上

### 10月3日例会スナップ




加藤ガバナー補佐訪問例会・岸田幹事・米山奨学生 張璐さん

10月17日 今日は何の日	今日生まれの有名人		
神嘗祭・貯蓄の日・カラオケ文化の日	1988年 松坂桃李	1961年 賀来千香子	
1877年 学習院開設	1988年 大島優子	1952年 もたいまさこ	
1956年 英国、世界初の原子力発電所設立	1978年 黒沢かずこ	1915年 アーサー・ミラー	
誕生花	レースフラワー、花言葉は“初恋の人”		
誕生石	カーネリアン(carnelian)、宝石言葉は“希望に満ちて”		

### 奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ  
 御国に捧げん我らの業  
 望は世界の久遠の平和  
 めぐる歯車いや輝きて  
 永久に栄えよ 我等のロータリー



例会場 JRホテルクレメント高松  
 高松市浜ノ町1番1号  
 TEL(087)811-1111

例会日:毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)  
 今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのacroバトリーダーが必要です)  
<http://www.88club.com/rc/2014pdf/10-17.pdf>

事務所  
 高松市西の丸町10-15  
 高松ホテル旅館料理協同組合内  
 TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

## ガバナー公式訪問例会

ガバナーをお迎えするにあたり、高松西RCの皆様方には高松西RCのブレザーの着用をお願いいたします。

会場は21階「シエロ」です。  
多数の出席をお願いいたします。

また、公式訪問に先立ちまして、現会長幹事、次期会長幹事及び副会長とでガバナーとの懇談会がございます。

時間 : 11:30 ~  
会場 : 20階「オリオン」

## 2014-2015年度 理事会

- 日時 2014年10月10日 13:30~  
場所 JRホテルクレメント高松 例会会場  
出席者 野口、岸田、多田、木内、磯崎、遠藤  
議題
- 山崎喜一郎会員の10月1日~12月31日までの期間、限定出席免除届け承認。定款第9条第5節に基づく事項。
  - 新会員石井数広さん本日例会より出席。
  - 今月30日来高の水戸南RC一行の歓迎関連経費として15万円限度に特別会計から負担。

## ニコニコBOX

今後ともよろしく願いいたします。	石井
早退	2件
合計 3 件	
本日の合計	11,000円
2014-2015年度累計	299,800円

## 例会変更

- 10月20日(月) 東かがわRCは18:30「夜間例会(月見例会)三本松ロイヤルホテル」に変更  
10月21日(火) 丸亀東RCは10月19日(日)16:00「香川県立丸亀競技場・カマタマーレ試合観戦」に変更  
10月22日(水) 坂出東RCは18:30「夜間親睦例会 秋の賞味会」に変更  
10月24日(金) 高松西RCは19日(日)「県立丸亀競技場・カマタマーレ讃岐観戦家族会」に変更  
10月24日(金) さぬきRCは休会  
10月29日(水) 坂出東RCは25日(土)10:00「清掃活動」に変更  
10月30日(木) 高松RCは12:30「食事例会終了後移動例会」に変更  
10月30日(木) 観音寺RCは休会

## 第2670地区ガバナー方針



2014-2015年度 地区方針

## 個々の光で一隅を照らし、 共に世界を輝かそう

国際ロータリー第2670地区  
2014 - 2015 年度ガバナー  
佐々木 善教

2014-2015RIテーマは、Light up Rotary「ロータリーに輝きを」です。

「世界には、問題が山積となっており、大勢の人たちが助けを必要としています。しかし、自分にできることはないと言って、何もせずにただ座っている人が大勢います。これでは、何もかも暗闇のままです。」と、ゲイリーC.K. ホアン会長は呼びかけています。

自分自身の置かれたその場所や立場で出来る最善を尽くせば、一人ひとりが光り輝く人間となり、さらに明るく照らされた社会を実現することができるのではないのでしょうか。このことは、皆様の職業を通して当てはまることであり、全てに共通する大切な人生観とも言えるものです。

このような心豊かな人々が集まれば、地域社会を、日本を、さらには世界を輝かせることができると思います。この想いを地区のテーマにさせていただきました。

次に、2014-2015年度地区運営方針について説明させていただきます。

### (1) クラス分区、地区などの行事には積極的に参加し、友人を作りましょう

私は、ロータリーの根源は友愛にあると思っています。これは親睦とクラブ奉仕に関わることです。会長・幹事はじめ、ベテラン会員の方々は、入会歴が浅い会員、又出席が少ない会員に対し、IMや地区大会などの諸行事に参加することを促し、新たに友人ができるように導いてあげてください。

友人ができれば、ロータリーの活動に参加することが楽しくなり、自ずと前向きになってくるものです。

### (2) 職業奉仕を通して、互いの職業理念などを学び合い、自らを高めましょう

ロータリアンが円滑に活動をするには、奉仕の基盤ともいえる仕事が順調であることが前提です。クラブで会員の職業を互いに理解し、職業理念や人生観まで分かち合え、自らの職業に生かしたいということも、実は会員、特に比較的若い第一線で働いている会員のニーズとして、潜在的にあるのではないのでしょうか。

## 次週のプログラム

第2204回

10月19日

例会変更:カマタマーレ讃岐観戦家族例会(VS愛媛FC)

担当者 親睦活動家族委員会

例会場 県立丸亀競技場

### (3) 社会奉仕を通して、地域のために何ができるかを見出しましょう

全国、地区内に、地域に密着した素晴らしい活動事例が沢山あります。それらをヒントに、地域社会が何を必要としているのか、どう支援できるかを考えてみましょう。

### (4) 国際奉仕を通して、他国の文化や慣習に対する認識を深めましょう

国際交流の一環として、青少年交換の活動に進んで参加し、多国間の相互理解を深め、次世代のグローバル社会に通用する若者を育てましょう。水からプロジェクト(2530地区、福島震災被災者へ癒しの水を送る事業)も継続していきたいと思えます。

### (5) 青少年活動に支援をお願いします

リーダーは誰も最後の仕事として、また最も責任のある仕事として、今まで築いてきた有形無形の価値を後世に受け継いでくれる人材を育て、バトンタッチをするという大きな使命があると思えます。これは、家族や会社、地域や国家においても同様です。今の時代を生きている我々だけが良ければいいのではなく、次世代を担う青少年、若者を育て、より明るい未来を創造していけるように日頃から努めることは、我々の使命だと思えます。青少年活動の根幹(ロータアクト、インターアクト、ライラ)これらに参加する青少年を増やしましょう。しかし、ただロータリアンが一方的に関わり、与え、守るだけではなく、各クラブの例会や行事に、若者が参加しやすいように配慮し、積極的にロータリアンと接することができる機会を増やしていただきたいのです。そして将来、この若者たちがいつの日かRCに入会してくれるように導きましょう。

### (6) ロータリー財団にご寄附を。その資金を世界に地域に有効活用しましょう

●ポリオ完全撲滅に向けてご寄附の協力をお願いします。

●WF(国際財団活動資金)での効果的な活動などが伝わる広報を充実してください。WFとは国際財団活動資金であり、寄附した年次寄附額の50%がWFに充てられ、世界各地で広範囲にわたり、教育的・人道的財団活動に使われています。

●「未来の夢計画」(2013年度開始)を積極的に活用し、ロータリー財団がもっと身近なもの、自分たちのものだという自覚を強めてください。そして、毎年同じ事業だけでなく、地区補助金を活用して、地区の活性化を行うために必要なものが他にないかクラブ内で議論し、新事業を企画、実行してください。

### (7) ロータリー米山記念奨学事業を通して、日本と世界の架け橋になる人材を育成しましょう

奨学生とコミュニケーションを積極的にとっていただ

けるよう、クラブで協力をお願いします。また、当事業は皆様の寄附によって支えられていますので、よろしくをお願いします。

### (8) 会員増強は義務ではなく、現会員がRC活動を楽しむ最適な手段のひとつです

会員増強と聞くたびに、クラブの大きな課題とは言え、またかというような気持ちになっていませんか。何か、義務感が先に立って、本来の意味が薄れているのではないのでしょうか。また、増強の手法はもう言い尽くされたくらい存在するかもしれません。ここで、ちょっと原点に戻って、もっとシンプルに考えてみましょう。

「皆さん、ロータリーに入会して良かったことは何ですか。」そのような質問をすると、現会員は大多数「RCに入会していなかったら知り合えることのない、素晴らしい人生観や職業理念を持っている会員と家族のような付き合いができて、非常に良かった」とおっしゃるので。ならば、家族のような一生の付き合いができる会員をもっと多く互いに紹介し合い、新会員を増やし、共により豊かな人生を送り、入会して良かったと、いつまでも感じることでできるクラブに高めてみてはいかがでしょうか。「新たな会員との出会い」は、皆さん個々がRCを楽しくする最適な手段のひとつだと思います。「RCに入会して、素晴らしい友人を増やしませんか」と声をどんどん掛けていきましょう。

### (9) 広報、ITを通してRC活動を社会に認知していただき、誇りとやりがいを見出しましょう

地区、各クラブともに素晴らしい事業を数多く行っています。ただ残念なのは、皆様の地域に、余り認知されていない事業も多いのではないのでしょうか。地域の方に認知していただくことによって、「素晴らしいですね。がんばっていますね。応援しています。」と家族から、友人から声をかけていただくだけで、正直嬉しいものです。そのことで、誇りとやりがいを感じ、また頑張ろうという気運も湧いてくるのではないのでしょうか。そして、地域に協力の輪が広がり、ロータリー外の支援者ができるようになっていくと、さらにロータリー活動の地域貢献力が高まることは言うまでもありません。

以上、私の地区方針を掲げさせていただきました。これらの内容は、以前より皆様から頂いているご意見ばかりで、決して斬新なものではありません。又、各クラブでも、既に上記のどれかに当てはまる素晴らしい事業に取り組みられています。しかし、どのような組織でも、現状維持で満足してしまうと徐々に衰退の方向になってしまいます。ロータリアンの皆さん、ご自身が実行したいと考える目標を掲げ、個々の光を集めて、その目標を照らしましょう。そうすることで、クラブはもとより、地域を、国を、さらには世界をも輝かせることができるのではないのでしょうか。この1年を素晴らしいものにしましょう。